

① 世代交代を見据えた住宅改修、住宅政策について

本町の「まちひとしごと創生総合戦略」の〈時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する〉という項目では、安心して住み続けられる環境を整備。他地域から本町に移り住んでいただくためには、持続可能で充実した行政サービス…（中略）…人に優しい成熟したまちを創っていく必要があります、そのための取り組みを進めます。としています。

本町の住宅団地は、高齢化率が高い住宅地、比較的若い世代が多く住む住宅地など、造成された時期により世代構成に違いが見られます。そして、高齢化した団地では特有の課題が存在します。

平成27年12月議会で私は一般質問で、『本町の既存の住宅団地では、高齢化の進行とともに、空き家が増えていくことが想定されます。そこを若い世代が購入し居住する際、改装費の一部を補助するという新たな視点が住民ニーズとして出てくると考えます』、『人口対策としての視点をとり入れた住宅リフォーム助成が検討できないか』と質しました。

これに対し、「まずは来年度（28年度）、空き家の情報収集とデータベース化を図った上で、具体的な移住・定住促進のための支援策を検討」すると答弁がありました。

この点についてどのような検討がなされ、どのように進捗しているのかをうかがいます。

また、「まちひとしごと創生総合戦略」では、若年層、子育て世代への家賃補助を掲げていますが、現状どのような進捗状況になっていますか。